

令和2年産(元年播)麦生育情報 No.5 (R2.4.9)

(情報作成)滋賀県農業技術振興センター

(次回は5月中旬の予定)

滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

1 気象経過と生育状況

① 気象の経過 (彦根气象台、平成21～30年の平均値との比較)

期間	要素	平均気温	日照時間	降水量
	2月	全般	高い	やや少ない
3月	上旬	高い	多い	やや多い
	中旬	高い	かなり多い	やや少ない
	下旬	高い	少ない	平年並

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5～1.0℃:やや高い(低い)、±1.0～2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)

日照時間 <±5hr:平年並、±5～10hr:やや多い(少ない)、±10～15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)

降水量 <±10mm:平年並、±10～20mm:やや多い(少ない)、±20～30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

② 生育状況

農業技術振興センターの3月31日時点での麦類作況調査では、11月5日播の「農林61号」、「ふくさやか」とも、茎数は平年より少なく、草丈はかなり長い。「農林61号」では出穂始め、「ふくさやか」では出穂期を迎えており、生育の進展は平年に比べ、2週間程度早いと見込まれる(表1、表2、後掲グラフ)。

表1 令和2年産(元年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	産年	3/13 調査			3/31 調査		
		茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉齢
農林61号	R2年産	600	53.0	8.5	524	71.0	9.2
	平年値	717	31.8	7.4	671	47.4	8.5
ふくさやか	R2年産	492	59.5	8.8	412	77.8	9.2
	平年値	663	31.5	7.7	633	48.5	8.7
(参考) びわほなみ	R2年産	664	59.5	9.1	572	75.0	9.3
	平年値	923	37.5	7.6	858	54.2	8.7

※播種日:令和元年11月5日。

※平年値:「農林61号」「ふくさやか」はH24～R元年産(H23～30年播)の8年間の平均値。

※「びわほなみ」は3か年分(H28,H30,R1)のデータしかないため参考とした。

※播種量は8kg/10a条播(条間25cm)。

表2 麦類作況調査における出穂期・開花期・成熟期（4月9日時点）

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

	農林61号			ふくさやか			(参考)びわほなみ			サチホゴールド			ファイバースノウ		
基準播種日	11/5			11/5			11/5			11/5			11/5		
産年	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差	R2	平年	較差
出穂期	4/7	4/17	10日早	3/30	4/14	15日早	3/29	4/10	12日早	3/17	3/30	13日早	4/9	4/16	7日早
開花期	未	4/27		未	4/25		未	4/21		-	-	-	未	4/22	
成熟期		6/4			6/1			5/30			5/19			5/26	

※平年は、「農林61号」「ふくさやか」「ファイバースノウ」は8年間(2012～2019年産)、「サチホゴールド」は7年間(2012～2016、2018～2019年産)、「びわほなみ」は4年間(2016～2019年産)の平均値。

☆3月31日現在の小麦の生育状況（農技センター作況調査）



「農林61号」



「ふくさやか」



「びわほなみ」

2 県内の状況

○麦類の生育は、平年より前進している。11月初めに播種したところでは「農林61号」で出穂始め～出穂期、「ふくさやか」で出穂期～穂揃い期を迎えている。

3 今後の管理

(1) 排水対策

○排水不良は、根の伸長を妨げ、登熟期にまで影響が及び、収量および品質低下を引き起こすので、溝に水がたまる場合には溝さらえを行うなど速やかに排水するよう、**引き続き徹底した排水対策**を講じる。

(2) 小麦の実肥施用

○小麦の実肥施用は、**開花期（平年の出穂期では出穂10日後頃）**に行う。

○実肥は、**窒素成分で3～4kg/10a**施用する。ただし、**茎数の少ないほ場（約300本/㎡以下）**では、**2～3kg/10a**に減らす。

(3) 赤かび病防除

○小麦

・小麦の赤かび病防除は、**開花始め～開花期（平年の出穂期では出穂5～10日後頃）**に行う。開花期以降に降雨が続く場合は、1週間後に追加防除を行う。

・「びわほなみ」は、開花始め～開花期とその1週間後の2回防除を行う。

○大麦

・二条大麦では穂揃い10日後頃に農薬を散布する。散布後降雨が続く場合は、追加防除を行う。

・六条大麦では開花始め～開花期とその1週間後に農薬を散布する。

(実肥施用、赤かび病防除における留意点)

① 11月上旬播種の小麦の出穂期は、平年より10日程度早くなると見込まれるため、出穂期の確認を早めに行い、実肥や防除が適期に行えるようにする。

② **出穂が始まってから低温になると開花が遅れるので、赤かび病防除は開花を確認してから実施する。**

【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nougicenter/>

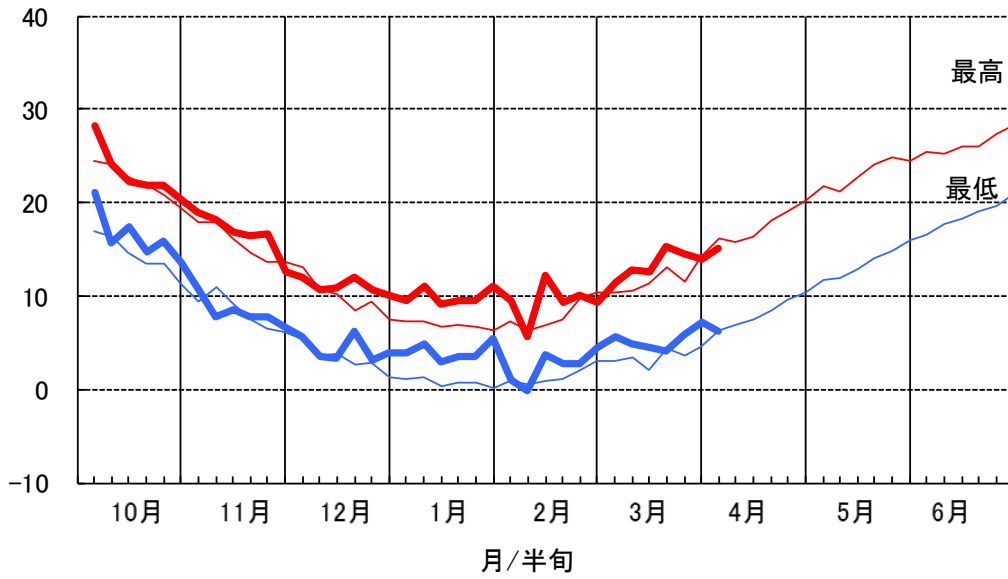
病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/boujyo/>

彦根地方气象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

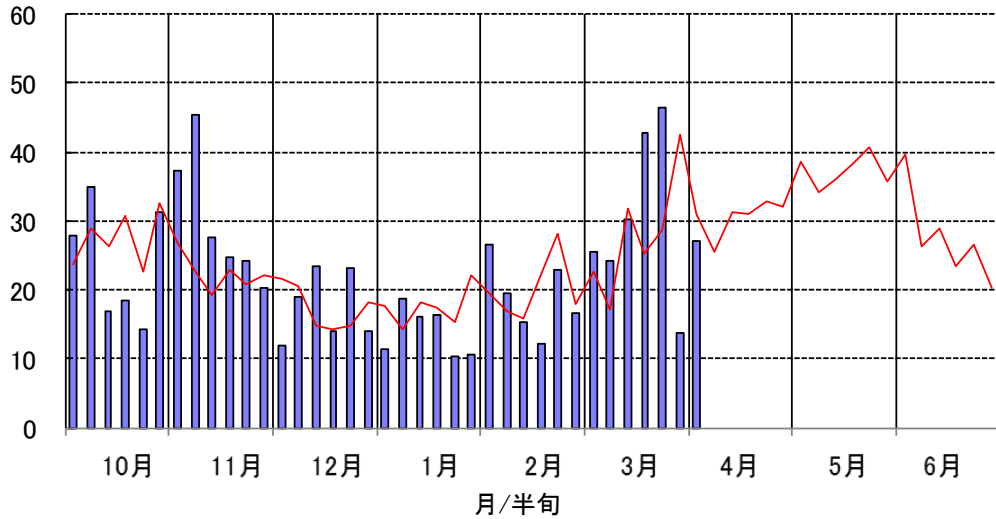
令和2年産(令和元年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 棒線: 本年(令和2年産) 折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



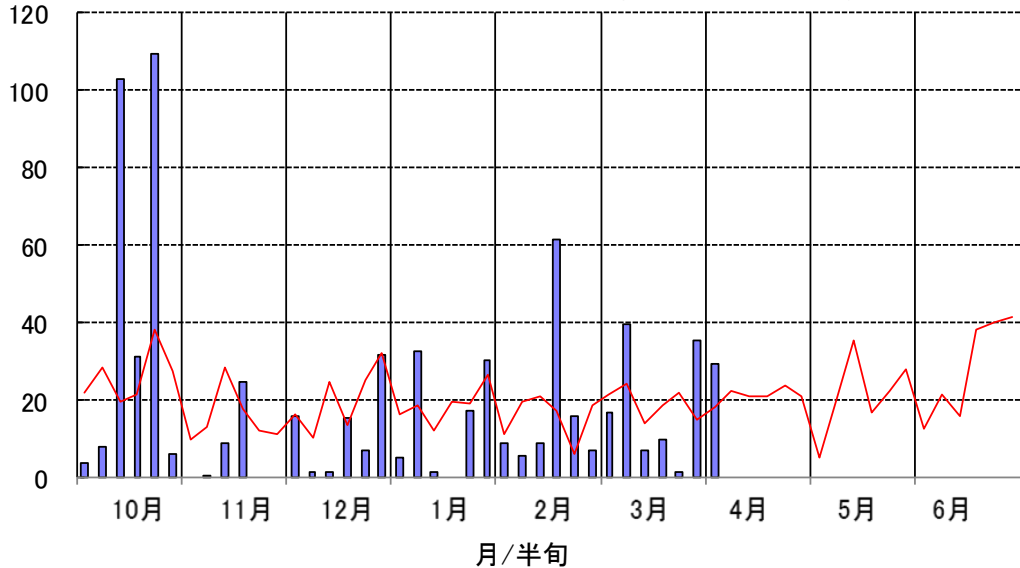
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和2年産)
折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

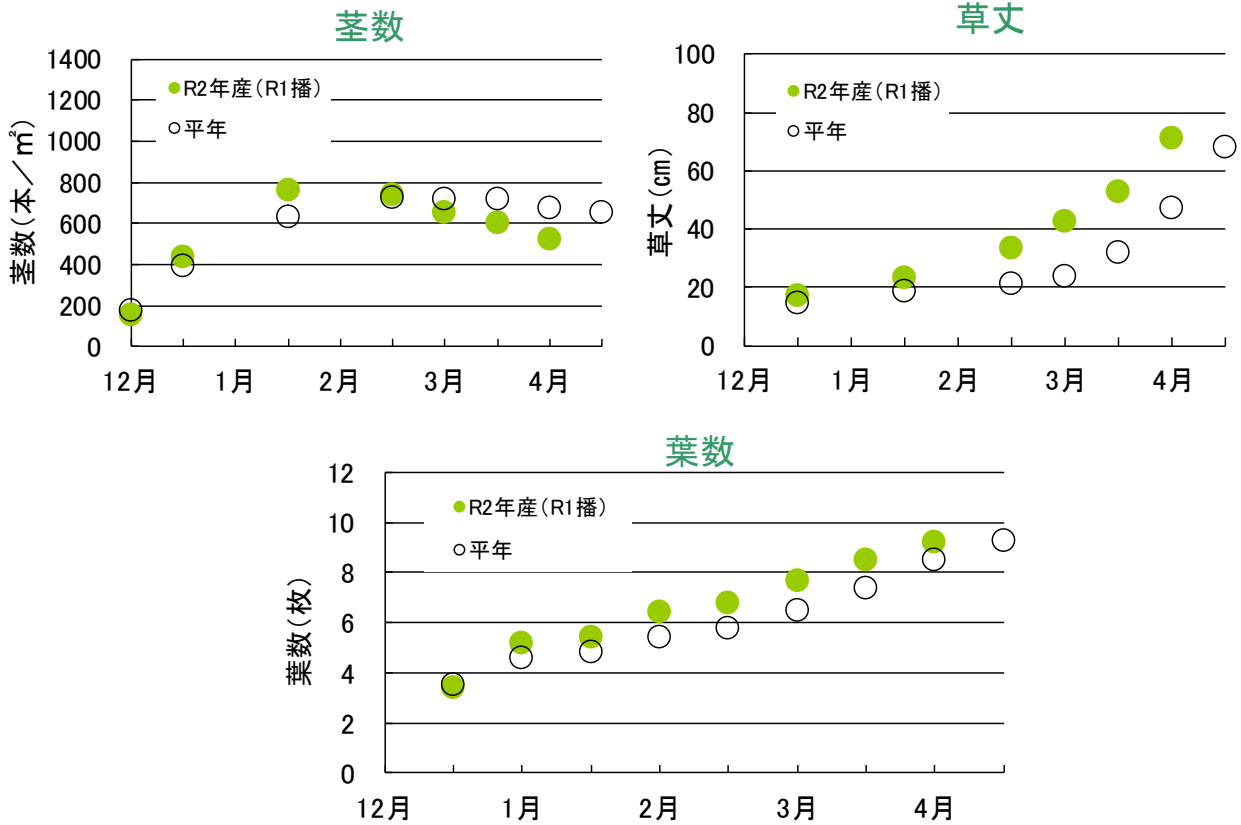
棒線: 本年(令和2年産)
折線: 平成22~令和元年産麦作期間の平均値



令和2年産生育調査結果（1）

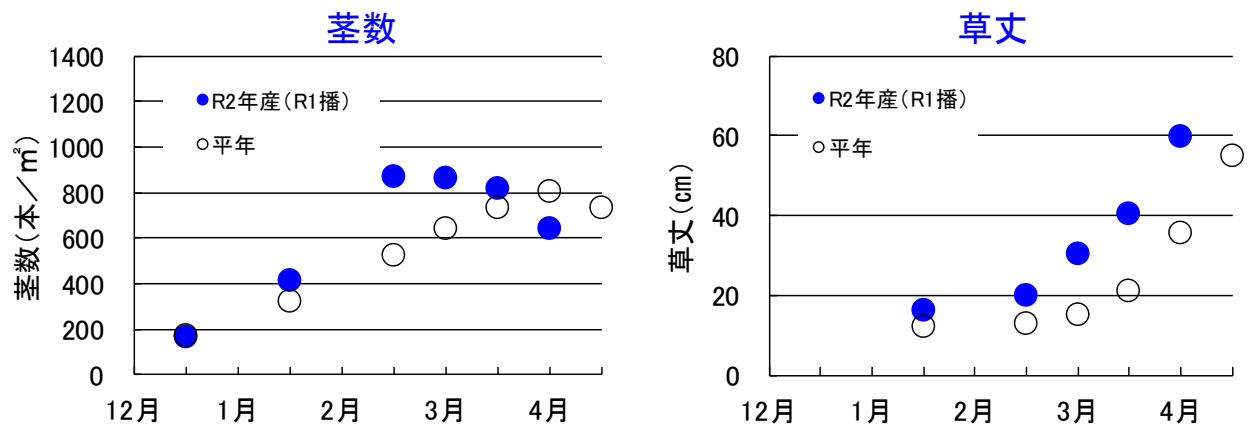
「農林61号」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播

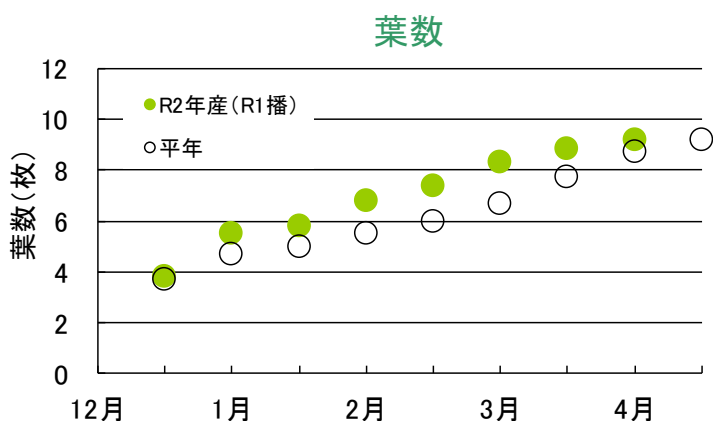
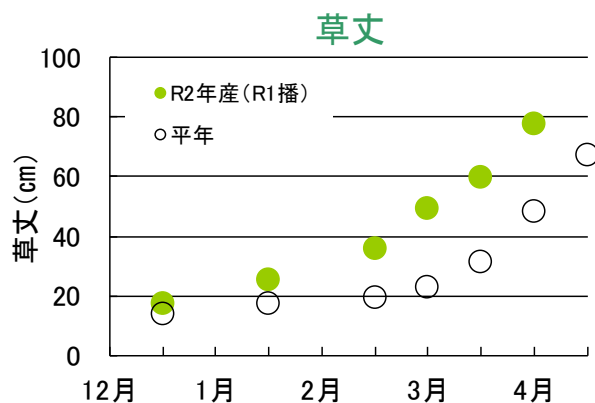
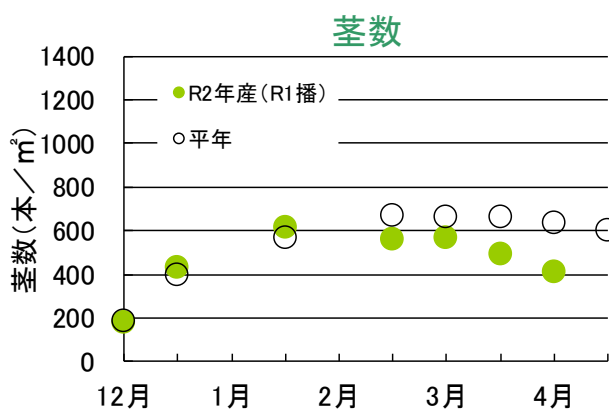


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和元年産(平成23～30年播)の8年間の平均値。

令和2年産生育調査結果（2）

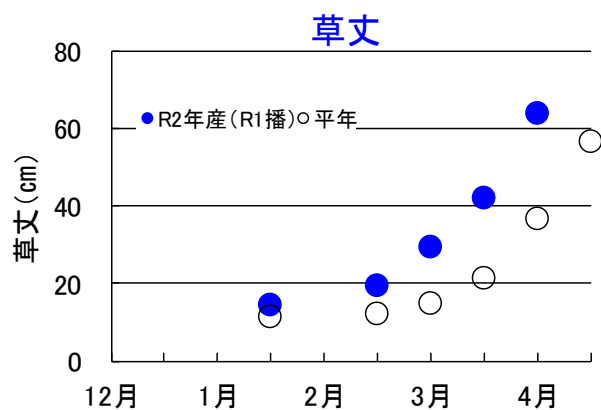
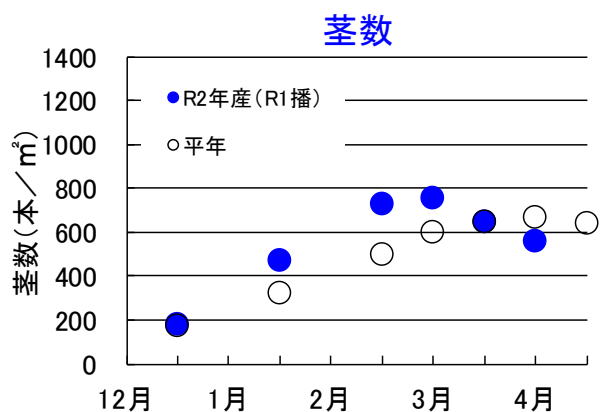
「ふくさやか」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播

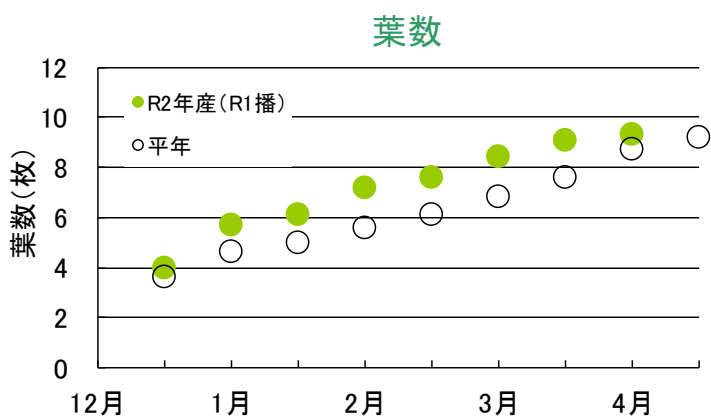
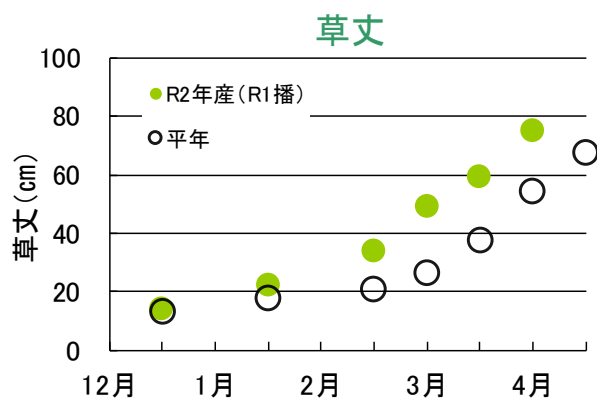
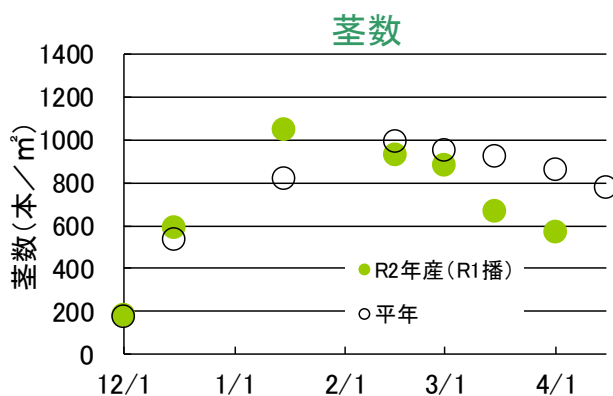


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成24～令和元年産(平成23～30年播)の8年間の平均値。

令和2年産生育調査結果（3）

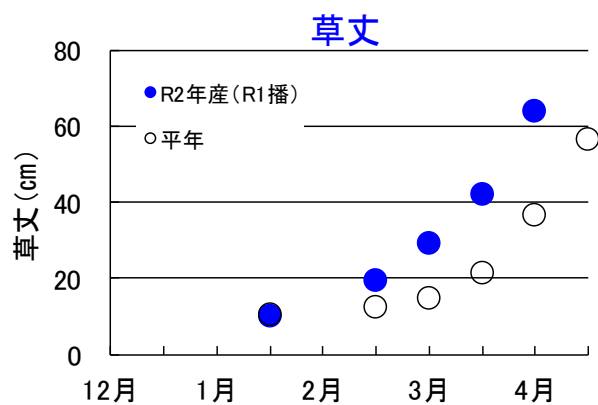
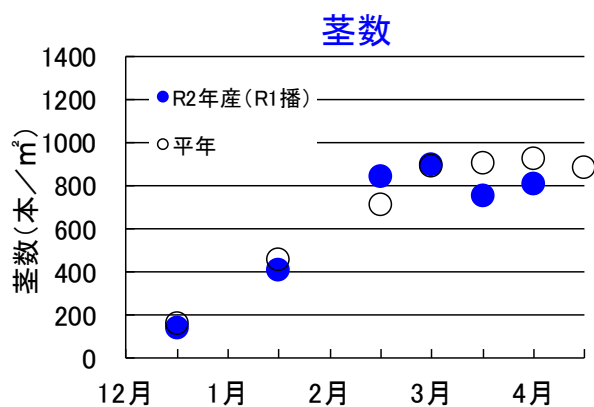
「びわほなみ」

令和元年11月5日播



(参考)

令和元年11月21日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28,30,令和元年産(平成27,29,30年播)の3年間の平均値。